

牧場&牛乳工場見学ツアーが開催されました

かながわ酪農活性化対策委員会※主催の「牧場&牛乳工場見学ツアー」が、令和元年度以来4年ぶりに開催されました。県のたよりで参加者の募集を行ったところ、68組の応募があり、抽選にて15組が当選し、当日は12組26名（大人12名、小学生14名）の参加がありました。本ツアーは、乳牛を育てる牧場と牛乳工場を一日で見学することで、牛乳の生産から流通販売までを一緒に学ぶことができる人気のイベントです。今回のツアーでは、茅ヶ崎市のかきざわ牧場と雪印メグミルク海老名工場を見学しました。

かきざわ牧場では、牧場主の柿澤氏から酪農家の仕事や牛についてのお話があり、その後、搾乳体験が行われました。搾乳体験では、大人も子供も自分で搾った搾りたての生乳に触れ、その温かさに驚いている様子が印象的でした。全員の搾乳体験が終わったところで、搾乳体験を行った牛にバケットミルカーを装着して搾乳を行い、ミルカーで搾った生乳を参加者にも見てもらうことで、どのくらいの量を1回で搾ることができるのか実感してもらいました。想像よりも多くの生乳が搾れていたため、参加者からは「おー」といった驚きの歓声があがっていました。

搾乳体験の後は、牧場で飼養されている子牛の見学や羊とのふれあいを行いました。牧場にはホルスタイン種、黒毛和種、交雑種の子牛がおり、それぞれの違いについての質問が多く、肉用種についてはもうすぐ肥育を専門とする農家へ出荷されるとの説明に、「お肉になる牛を育てる専門の農家さんもあるんですね」といった感想がありました。羊とのふれあいでは、「あったかい」といった感想や、「羊からも乳は搾るの?」「この羊の種類は?」といった質問がありました。

参加した小学生からは、「乳しぼりが楽しかった」、「牛が大きくて立派だった」、「普段飲んでいる牛乳がこんなにたくさんの工程で作られていることに感心した」などの感想が挙げられました。保護者からは、「牧場から牛乳工場までの流れを教えてもらい勉強になった」などの感想が聞かれ、ツアー全体について好評をいただきました。

雪印メグミルク海老名工場では工場では、牛乳の製造ラインを見学した後、乳製品の試食を行いました。

畜産技術センターは、牧場現地スタッフとして、見学準備や牧場主の補佐を担当しました。

備考

※かながわ酪農活性化対策委員会：県内生産者、関係団体、関係機関が、県産牛乳の高付加価値化や認知度向上を図るとともに、ブランド力を高めることによって、県内酪農業の活性化を図ることを目的として組織した委員会。神奈川県酪農業協同組合連合会が事務局。



牧場での搾乳体験の様子



バケットミルカーで搾乳した生乳の量を見ながら、お話を聞く参加者